

平成28年度第2回豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校統合検討委員会

日 時	平成28年8月17日（水） 午後6時30分から午後8時8分まで
場 所	豊明市役所 東館1階 会議室4・5
出席者	小川雄二委員長、三谷聖也委員、浅野薫史委員、古川和男氏（岸委員代理）、小崎真氏（近藤委員代理）、屋良桂子委員、丸尾敬吾委員、原田義英委員、伊藤昌司郎委員
欠席者	三冶金行副委員長
事務局	市長、副市長、教育長、教育部長、学校支援室長 とよあけ創生推進室
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有（11名）
議 題	1 平成28年度のスケジュールについて（案） 2 よりよい教育環境の実現に向けた可能性について 3 意見交換

議 事 録（要旨）

I 委員長あいさつ

本委員会は、市長からの諮問に基づき、両小学校の統合についてたくさんの意見をもとに答申をまとめる役割となっております。

統合について、どういうあり方でいくのか、市民の皆様から積極的に意見を寄せていただき、委員として、市民の皆様の意見、専門的な意見、地域の意見、保護者の意見、そして学校の教職員の意見をまとめ、よりの確な答申をまとめる役割だと思っております。

そのために、委員の皆様は積極的な意見、質問をお寄せいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

II 市長あいさつ

昨日、唐竹小学校の保護者の方と意見交換会を開催させていただきました。

多岐にわたりご意見をいただき、保護者の方の思い、質問は出尽くした感じがしました。

そのご発言から、「統合することは市役所として結論を出している。」、「統合する場合は、唐竹小が双峰小に統合される。」と、誤解されている方が多くいることがわかりました。

現時点で市役所は結論を出しておらず、この検討委員会を通じて多方面から議論を重ね、最終的に結論を導きたいと考えており、保護者の方からの意見をいた

だく方法として、意見交換会、アンケートの必要があるということも説明し、現在、唐竹小に問題が生じているわけではないが、あくまで子ども達にとって今以上によい教育についてを議論していきたいといったことを説明させていただいて、保護者の方にもご理解いただけたかと思っています。

平成24年に学校の再編を含めて議論をしたことがあります。年数がたっていないので早いのではないかとのご意見がありますが、子どもの1年は大変重要で、人口推移の十年を考えて、議論を先延ばしにするということは、子どもの教育という視点から考えると望ましくないと私は考えます。

そのようなことも重ねて説明し、ある程度理解いただき、市民の皆様と子ども達にとって、もっともよい結論を導くということに合意形成できたと思います。

残念なことは、昨日の意見交換会は、保護者の方が20名ほどしか参加されませんでした。もっと多くの保護者と意思疎通がしたかったのですが、これから双峰小との意見交換会を行います。唐竹小でも、繰り返し、意見交換会を行う必要があると思います。

本日は、委員の皆様のお立場から、一人ひとり忌憚のないご意見をお聞きしたので、よろしくお願ひします。

III 会議運営確認

【欠席委員の代理の出席が承認される。】

【議事録の署名議員は、三谷委員が承認される。】

IV 議題

委員 議題に入る前に、市長のあいさつについて質問させてください。

小川委員長 発言を認めます。

委員 昨日の唐竹小での意見交換会について、出席者が少なかったことを残念がられてましたが、まず案内通知が2週間弱前の出校日に児童を通じて渡されたため、保護者にまで届いていない人があり、また開催日がお盆休み中であることから帰省や旅行などを計画している家庭が多かったため、案の定出席者が少なくなりました。

そんな少ない人数に説明して、保護者に理解をいただいたとおっしゃっていたが、それは誤解であり、大多数は未だ唐竹小が双峰小学校に統合されると思っています。

以前、統合に関することについて配慮をお願いしましたが、まったく配慮されていません。

開催日決定、文書配布時期についての経緯を、お教え願ひします。

事務局 日程については、お盆休みであるため、普段出席できない保護

者の方が、出席しやすいのではと考え設定しました。文書配布については、事務局の不手際により遅くなってしまったこととお詫びします。

委員 昨日の意見交換会については、大多数の唐竹小の保護者は納得できていません。資料3がすべての意見ではないのです。以後考慮していただきたいと思います。

市長 日程の相談をさせていただき、再度開催させていただきます。
小川委員長 日程調整については、市の目論見がはずれたため少人数になってしまったとのことであるので、再度調整して開催するとよいと思われま。議題3の意見交換の際に開催について審議させていただきます。

1 平成28年度のスケジュールについて（案）

（事務局説明）

小川委員長 唐竹小学校の意見交換会について修正が入りますが、そのほかについてはいかがですか。

委員代理 双峰小は、PTA役員の意見交換会と保護者の意見交換会の間隔をあけてほしい。保護者に対する意見交換会の文書配布は早めをお願いします。

小川委員長 日程調整については、なるべくたくさん保護者から意見をお聞きしたいので、事務局は、学校に保護者が参加しやすい日程を教えてください。

その部分についてスケジュール修正をお願いします。

そのほか何か意見はございますか。

委員 アンケート調査について、対象者は「児童の保護者」か「児童と保護者」のどちらでしょうか。

児童に直接、学校がなくなることを問うのはどうなのでしょう。ただし、理想の学校像を聞くなどはよいと思います。

市長 保護者との意見交換会を開催したうえで、次回の検討委員会で意識調査の内容を検討します。

小川委員長 次回の検討委員会で、具体的な意識調査の内容を検討するのであれば、今委員会で意識調査対象者を決定しなければ、検討できませんね。

今から児童に対しての調査が必要かどうか、ご意見を伺いたいと思います。

委員代理 唐竹小の児童の状態について、1学期末に実施した児童対象の

アンケートの自由記述を見ると、非常に不安な状態になってることがわかります。

そのような中で、児童に直接、意識調査をすることは非常に難しい問題だと思われま

委員 児童に統合についてのアンケートをとるということは、児童の立場に立つと、行わないほうがよいと思われま

す。そのアンケートの結果により結論を導くなど、児童に決断をゆだねるのはあまりに重いのではないのでしょうか。

もしアンケートをとるならば、どのような学校にしたいかなど、前向きな設問にするならよいと思われま

小川委員長 事務局では、調査対象者はどのように設定していましたか。保護者のみです。

小川委員長 委員のご質問は児童にも調査したほうがよいとのことでしょうか。

委員 統合するしないを児童に聞くのは、絶対にやめたほうがよいです。

ただ、大人ではわからない、子どもならではの意見を組み入れてほしいという保護者の意見もあるので、直接ではなく間接的に調査ができればよいと思います。また、先に唐竹小で行われたアンケートの内容も委員の皆様

小川委員長 児童に直接、意識調査をすることは望ましくないが、意見は知りたいということですね。すでに唐竹小では児童の意見の集約があるということですが、双峰小ではどうでしょうか。

委員代理 ありません。

小川委員長 それぞれの小学校で、児童にアンケートをとっていただくことは可能でしょうか。

委員代理 双峰小でも、アンケートを1学期末に実施していますが、自由記述欄は設けていませんでした。改めて実施するということは、考えて行わなければならないと思われま

小川委員長 統合委員会より直接児童に意識調査をすることは難しいと思われるので、学校で児童の意見を集約できることがあれば、参考資料としてご提示いただければと思いま

す。意識調査に関して、以上です。

全体のスケジュールで、ご意見はございますか。

それでは、これまでの修正を加えたものを28年度スケジュールとさせていただきます。

確認ですが、2月の第5回で答申を取りまとめなければいけないのではない、ということでしょうか。

事務局 そのとおりです。

小川委員長 では、その部分を確認させていただいて、一部修正をしたスケジュールで進めていくということでしょうか。

お認めいただいたということで扱わせていただきます。

2 よりよい教育環境の実現に向けた可能性について

(事務局説明)

市長 補足説明ですが、事務局の説明は少なくともこれぐらいはできるというレベルであり、もし統合することになれば豊明市のモデル校としていくために、これ以上のものを目指しますので、ご意見があれば、お伺いしたいと思います。

委員代理 統合した場合の良い面の可能性が示されましたが、今のまま統合すると、クラス数は変わらずクラス児童数が増え、きめ細やかな指導ができなくなる場合などの、負の可能性も見ていかなければいけないのではないのでしょうか。

市長 今回の事例での場合については、教員補助がつくことにより、デメリット部分が解消されむしろ習熟度学習等ができるようになるかと考えています。

委員代理 教員補助が増えるのは大変良いことですが、担任しかできない事務も多くあり、見えない部分も多いので、その点をお願いします。

市長 クラス人数については、統合する時の学年の総人数によるなど不確定であるので、議論に決着が付きません。仮に統合となった場合、確実にフォローできるような体制をとります。

小川委員長 第1回の際に人数についての資料がありますが、学年の特性、今後の児童数の変化によりクラス数は変わるので、不利有利はないと受けとります。児童数のコントロールはできないので、いたしかたがないということをお願いします。

教育長 補足ですが、昨日の意見交換会でも申しましたが、統合することには、当然メリットもデメリットもあります。

そのような中で、夢のある学校ができるのであれば、その形を

提示し、それを保護者の方に、このように良くなるのですがどうですか、と説明していきたくいと、強く思っています。

今は、非常にネガティブな思考、学校がなくなってしまうなどのご心配やご不満を与えてしまっております。しかし、そればかりではなく、統合したらできなかったことができるようになるとか、児童の学力が上がる、今より楽しい学校ができるなど、できることがあれば、われわれは子ども達に提供していかなければならないと、強く思います。

委員代理のご指摘の点もございしますが、まずはこういった学校になるのか、付随してデメリットもあるが、そのデメリットのハードルは越えられるものなのか、なども検討委員会で整理していただいて、最終的には保護者に説明できればと思っております。

小川委員長 いろいろな可能性を明示していき検討し、統合することになれば、メリットデメリットについても答申のなかで述べさせていただきたいと思えます。

指導体制の教員補助の増員について学校教員として、どのようにお感じになりますか。

委員代理 良いことだと思います。理解が必要な科目で個別に対応ができるのは学校としてありがたいです。

委員代理 双峰小でも、支援員に学級に入ってもらっていますが、多くの目で見るとはよいことであり、少人数対応は増えるのはありがたいです。

小川委員長 さらに充実するとありがたいこととかがございますか。

委員 唐竹小では、小さい学校ですので、知らない先生がいないこと、校長先生に名前を呼んでもらえることが児童にとって嬉しいらしい。大きな学校になるとどうでしょうか。

また、クラス担任以外の先生がどうなるかがわからない。校長先生が2人から1人になるなど、学校全体として先生は減るのではないのでしょうか。

学校支援室長 校長や養護教諭が減ってしまうのは事実です。ただし補助教員がつくことは、教育の現場では大きな意味を持っていると見ています。

小川委員長 教員数は、協議の重要な事項となりますので、次回資料の提示をお願いします。

施設については、仮に双峰小に統合した場合、教育環境の低下

とかにつながらないでしょうか。

委員 現状では、特別教室は十分だと思われます。ただし、統合した場合は、児童クラブや放課後子ども教室に対応できるかどうかの検討が必要であります。

春日井市では、3校から1校に統合しています。その際には、十分な話し合いがなされました。豊明市ももっと話し合いをしなければいけないです。

保護者も大事ですが、学校は地域のなかにあつての学校であり、地域の方のバックアップがなければ、安心安全が守れません。地域の方も巻き込んで話をしていく必要があります。よりよい教育環境について、春日井市では校舎を近代的な施設に建て替え、その中に、地域の方が集うことができる部屋を設け、地域の方に支えてもらう学校にしました。

働く母親も増え、児童クラブなどの充実も必要であり、児童が、安心安全で楽しく学べる学校にしていくにはこのような工夫が必要だと思われます。

指導体制の教員の充実も大切だが、スクールカウンセラーなどの児童の心のケアに関する提案も、具体的な良い学校の提案になると思われます。

施設に関しては、どのように有効に活用するのか、児童にとってよいと思われることを具体的に提案すること、例えば、図書室を近隣にはないような、地域の方が一緒に本を借りる図書室に変えるなど、煮詰めることが大事だと思います。

春日井市での統合は、児童は違和感なく、うまくやっており、統合してよいところもありました。ただ、一人ひとりにいろいろな大人が目をかける機会をつくらないと、児童や保護者が不安になったりしますので、しっかりとやるのが一番いいと思われます。

春日井市で一番問題になったのは校区の分け方で、何度も議論を重ねました。統合することにより町内会に影響が出ないようなかたちにしておかないと、地域の中の学校になりえなくなるので、配慮が必要だと思われます。

小川委員長 事務局で今のご意見を参考にし、次回の資料に盛り込んでいただきたいと思います。

他の委員にもご意見をお聞きしたいと思います。

委員 心理学的な統廃合の影響についてお話しします。

統廃合に関しての事例件数は少なく、全容はつかみきれないが、統合すればうまくいくわけではなく、児童については、新しい友達、環境など楽しみが増える反面、気がかりも同等に増えると新しい体験への予測面の影響が出てくるとの研究結果が出ています。

とくに小学校高学年が、新しい人間関係づくりにエネルギーを注いでしまい、勉強面に不十分になるとの影響が出てきてしまうので、そのあたりの配慮が必要です。

学力の向上と人間関係づくりが統合した教育モデルができると良いと考えます。

スクールカウンセラーについては、児童からの相談を受身で待つのではなく、クラスに積極的に入っていくような人の配置が必要です。

小川委員長 児童の心の発達に影響が出ないようにするために、統合をすることになったら、配慮が必要になってくると思います。

地域の立場から、よりよい教育環境の実現にむけてのご意見ご発言をお願いいたします。

委員 地域住民の多くは、唐竹小学校が双峰小学校に統合されることが決まっていると思っています。

なぜ、皆がそのように思わされたのか、説明してください。

市長 市では一切発信しておらず、新聞でも教育委員の意見として「統合を是とする」のみの記事です。正直、唐竹小学校区でその話が定着している原因は把握できておりません。

新聞報道が出たとき、市が説明をする必要があったと反省しております。

小川委員長 この委員会では、統合という結論ありきでの議論ではございませんので、地域の方にお話をしていただくことがあれば、結論ありきではないことをお伝えいたしたいと思います。意見交換会でも、そのことをお伝えしていくことで、過去の経緯についての修正をしていきたいと思っています。

委員 自分は、クラス数の多い学校で育ってきており、友達も多く、助け合っていけるので、統合については反対ではありません。見守っていきたいと思います。

委員 P T A役員の中には、統合に賛成の人もいます。新しい学校が建つならば、とかの意見もあります。

よりよい教育環境はこの資料ではイメージできません。

意見交換会で後ろ向きな意見が多かった理由としては、新聞報道がされたときに、違うという説明がとにかく遅かった。そのため、唐竹小の保護者の考えは、ゼロどころかマイナスであり、そんなところでプラスの意見は出ません。良い学校にするための意見を出すためには、まずゼロに戻してほしいです。

P T A役員だけならプラスの意見も多くできます。子どものことを思えば、みんな現状よりよくしたいと思っていますので、夢のような意見があるし、子どもに「夢の学校」を聞いていただければ、大人だけが議論するより、いい学校にする話し合いができると思います。

小川委員長 そのためのアンケートであります。いろんなアイデアを出してもらい、統合するならこういう学校を提示して、結論を出したい。時間をかけて、検討し、結論、答申を出したいと思います。

委員 双峰小では、統合についてまったく話題にもならず、関心がないようです。そのため、双峰小代表としてではなく個人的な意見になりますが、友達が多いほうが良いとは思いますが、中学校に進んだとき、学校の中で1クラス分の友達しかいないより、3クラス分の友達がいたほうが、良いのではないかと感じます。

小川委員長 よりよい環境実現に向けて、さらに今後の可能性などの資料等を提示してもらい、議論を続けていきたいと思っています。

3 意見交換

(事務局説明)

小川委員長 ご発言ございましたらお願いします。

この資料は、唐竹小保護者20名の意見です。

さらに意見交換会を開催したほうが良いでしょうか。

市長 唐竹小保護者の皆様がマイナスイメージであり、ゼロベースにしないと議論のスタートに立てないということを市としては重いと考えております。

機会がいただけるのなら、文書での説明の上、日程調整をし、再度意見交換会を開催いたします。

委員 市が必要と思うならば、開催していただければよいですが、前回のよう案内が2週間弱前では火に油を注ぐので、丁寧にしていただきたい。

小川委員長 市として必要性があると考えているようなので、適切な日程で開催してください。これまで開催した際のご意見については、回

答を文書などで配布した上で、2回目の意見交換会を開催していただきたいと思います。

全体的に見たところ、感情的ではなく、建設的、前向きなご意見が多いと感じましたが、昨日の唐竹小学校保護者との意見交換会の雰囲気はどうでしたか。

市長 市のある委員をされている方が最初に質問してくださったので、他の方も質問をしてくださった。20名の半数以上の方が多岐にわたって質問してくださいました。

小川委員長 意見交換会を再度開催することになりましたので、今回のまとめ、双峰小学校分もあわせた意見交換会の資料などにより、次回議論させていただきます。

V その他

(次回開催についての連絡)